

諸人のここに学びて一校長室から見える風景―(29)

3年生、雪の最終登校日

先週の雪がまだ残っているのに次の寒波がやってくる、というので、ずいぶん心配しましたが、幸いなことにそれほど的大雪にならず金曜日を迎えました。(といってもまだ天気予報は雪マークが続いていますが…)

今日30日は3年生の最終登校日でした。いよいよ私大、国公立大2次へと向かっていくことになります。今朝、校舎内を回っていたら今日になって3年生のある教室の黒板の上に大きな学業お守りがあるのに気づきました。かなり大きなお守りです!担任の思いが伝わるようでした。4月からはほぼ毎朝、学年主任が各教室を回り時には窓を開けておいたり電灯をつけて明るくしておいたり生徒が過ごしやすいうように配慮していました。職員室前の廊下では、学年付の先生が学年の連絡事項をホワイトボードに書くときにちょっとしたメッセージを添えたり、とここでも見えないところで担任団の思いが感じられました。こんな場面を目にするといつもありがたい気持ちになります。なんでしょう、学校ならではの、のつながりを感じるからでしょうか。

話は変わりますが、入試によっては面接もあり、時々私も練習を頼まれることがあります。最近も面接練習をしました。必ずたずねるのが「志望理由」「高校生活で力を入れたこととそこから学んだことあるいはつけた力」「自分自身の強み」です。ひとり一人進路は違いますし、その前にひとり一人のよさや強みも違います。ぜひ自信を持って面接に臨んでほしいと思います。最近の面接練習が終わって生徒に言った言葉が「自分への投資は惜しまない」でした。入試は大変ですが、今の努力は未来の自分への投資です。面接も含めてできるかぎりの準備をして進んでもらいたい、と思います。

そして、どうしても入試のことばかりになっていますが、残り少ない豊高での時間を楽しんでほしいとも思います。もちろん明日から卒業式まで、毎日学校には行かないけれど、駅からの通学路や教室、図書館、先生や友人との会話などこの3年間を振り返りつつちょっとした時間をもってもらえたらありがたいと思っています。